ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名　東南海・南海地震予測のための地下水総合観測施設整備工事（和歌山県本宮地区）

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	孔３（３０ｍ）	調査位置	和歌山県田辺市本宮町三越字小道栖込原403（本宮町森林組合小径木加工場敷地内）			北緯	３３°５１’５１″
発注機関	産業技術総合研究所地質情報研究部門			調査期間	平成 18年 7月 19日 ～ 19年 3月 9日	東経	１３５°４４’０５″
調査業者名	住鉱コンサルタント㈱試錐部 電話（０３－３８２７－６１３８）	主任技師	千葉昭彦	現場代理人	明石孝行	コア鑑定者	田代寿春	ボーリング責任者	明石孝行
孔口標高	115m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	ＪＤ－２００
総掘進長	40.70m								エンジン	－	ポンプ	リゾート

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	N値	原位置試験	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	97.20	17.80																							
18	96.28	18.72		河床礫			Ⅲ～Ⅳ		δ		河床礫でマトリクスはない。φ2～120mmの砂岩主体の円～亜角礫（風化）。	CM					11/10	81			0.1	145	2.0-3.0	75	75
19				頁岩勝ち砂岩頁岩互層	黒～灰	C～D	Ⅳ		γ		18.72～30.00mで四万十層群音無川層の黒色頁岩及び砂岩の細互層からなる頁岩勝ち砂岩頁岩互層（Sh：Ss＝62：38）。	CL～D													
20											Sh：Ss＝62：38						11/11	60			0.1	145	2.0-3.0	75	75
21												CL													
22																									
23	91.50	23.50															11/18	77			0.1	145	2.0-3.0	75	75
24	91.00	24.00							α	1～2	23.5～24.0mで溶脱あり。	CL～D													
25							Ⅲ～Ⅳ		β		24.23mと24.36mで同傾斜（35°）の断層角礫あり（それぞれ幅4cm，5cm）。 Sh：Ss＝63：37 25.27m、25.53m、25.83mで同傾斜（40°）の断層角礫あり（それぞれ幅0.5cm，5cm，2cm）。						11/19	92			0.1	145	2.0-3.0	75	75
26																									
27											26.91mで断層角礫（傾斜45°幅10cm）あり。	CL													
28											28.15mで断層角礫（傾斜35°幅15cm）あり。	CL～D						109	98	HQインプリ	0.1-0.2	145	2.0-3.0	75	75
29																									
30	85.00	30.00									18.72～30.00mで四万十層群音無川層の黒色頁岩及び砂岩の細互層からなる等量互層（Sh：Ss＝58：42）。	CL					11/20								
31	83.50	31.50		砂岩頁岩等量互層	黒～灰	C～D	Ⅵ		β	1～2	31.5～34.0mで溶脱あり。 31.60m・31.85mで断層角礫（それぞれ傾斜30°58°，幅3cm 8cm）あり。	CL～D													
32																									
33											32.76m・32.93mで断層角礫（それぞれ傾斜48°69°，幅5cm 4cm）あり。 33.24mで断層角礫（傾斜40°幅8cm）あり。							123			0.1-1.5	145	2.0-3.0	75	75
34	81.00	34.00																							
35	79.50	35.50									Sh：Ss＝53：47	CL					11/22								
36										1～2	35.5～38.0mで溶脱あり。 35.90、.98mで同傾斜（62°）の断層角礫あり（幅それぞれ1cm，4cm）。	CL～D													
37												CL～D													
38	77.00	38.00									37.75mで断層角礫(傾斜40°幅6cm)あり。							196			1.0-1.5	145	2.0-3.0	75	75
39	75.80	39.20										CL													
40	74.80	40.20								1～2	39.20～40.2mにかけて溶脱あり。 Sh：Ss＝50：50	CL													
	74.30	40.70										CL					11/23								
41																									

コア採取率（％）　最大コア長 cm　RQD［％］

（ルジオン　標準貫入　）試験

（P～QN値～深度）図
[] ：ルジオン値
() ：換算ルジオン値
《》：限界圧力

電気検層ロングノルマル（LN）：Ω－m